

研究対象者へのホームページでの掲載用原稿

2004年1月1日から2013年12月31日までに川崎医科大学附属病院および附属川崎病院で肺の切除術を受けられた患者さんへ

研究課題名

本邦における肺切除術後脳梗塞に関する周術期、手術因子の解析：多施設共同研究

肺を切除する手術には様々な合併症を伴うことがあります。肺切除術後の脳梗塞は、頻度は高くないものの、起こすと重大な結果を招くことがあります。しかしながら、患者さん側の危険因子だけではなく、肺切除術の術式による脳梗塞発症のリスクが異なる可能性が最近指摘されています。

私達は日本呼吸器外科学会に所属する主要な施設と共同で、肺切除術後脳梗塞に関する周術期、手術因子の解析を行う研究を始めました。川崎医科大学附属病院および附属川崎病院で肺切除術を受けられた患者さんのうち、①2004年1月から2013年12月の期間中に手術を受けられ、術後に脳梗塞を発症した患者さん、②2009年6月1日から6月30日の期間中に手術を受けられ、術後に脳梗塞を発症しなかった患者さんのデータ（年齢、性別、併存疾患、肺癌の病期、術式、血管処理の方法、手術時間、術中合併症の有無、等）を研究事務局（長崎大学大学院医歯薬総合研究科腫瘍外科）に送付し、他の施設のデータとあわせて解析を行い、肺切除術後に脳梗塞を起こしやすい条件をみつきたいと考えています。国内の施設から脳梗塞発症例300例、非発症例900例が集積される予定です。患者さんのカルテ番号・名前・イニシャル・生年月日・住所など、個人情報を送ることはありません。

研究費用は教員研究費を用いて行います。呼吸器外科学教室は日本イーライリリー株式会社・協和発酵キリン株式会社・CSL ベーリング株式会社から、総合外科学教室は大鵬薬品工業株式会社・科研製薬株式会社・中外製薬株式会社・第一三共株式会社・株式会社大塚製薬工場・味の素製薬株式会社から奨学寄附金の受け入れがありますが、いずれも本研究とは直接関係はない企業であり、本学の利益相反委員会に申告し、利益相反（他者から資金の提供を受けることにより、その結果の判断にひずみが生じかねない状態になることを利益相反状態といいます）は適正に管理されています。

この研究に参加を希望されない方、データの送付を希望されない方は、①川崎医科大学附属病院呼吸器外科ホームページから電子メール（gts@med.kawasaki-m.ac.jp）、②川崎医科大学附属病院呼吸器外科学教室（直通 086-464-1124 担当：清水克彦）、③川崎医科大学附属川崎病院総合外科学教室（直通 086-225-2111 内線 3864）に連絡をお願い致します。なお、この研究は川崎医科大学倫理委員会の審査・承認を得ています。